



ALLIANCEBERNSTEIN®

運用報告書(全体版)

アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信（年2回決算型）
アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信（隔月決算・予想分配金提示型）

追加型投信／内外／株式
年2回決算型 第1期(決算日2025年3月21日)
隔月決算・予想分配金提示型 第1期(決算日2025年1月20日) 第2期(決算日2025年3月21日)

●受益者のみなさまへ
毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、このたび「アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信（年2回決算型）」は第1期の、「アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信（隔月決算・予想分配金提示型）」は第1期から第2期の決算を行いました。ここに、両ファンドの作成対象期間の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組み
当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2045年9月20日まで（信託設定日：2024年10月21日）	
運 用 方 針	アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信（年2回決算型）	アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信(隔月決算・予想分配金提示型)	
	アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド	世界の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
組 入 制 限	アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信（年2回決算型）	①株式への実質投資割合には、制限を設けません。
	アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド	②外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド	①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。	
	①分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。	
	②分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。	
	③留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。	

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011
東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント
お問合せ先 お客様窓口
電 話 番 号 03-5962-9687
(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)
ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信 （年2回決算型）

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率			
(設定日)	円	円	円	%	%	%	百万円
2024年10月21日	10,000	—	—	—	—	—	245
1 期(2025年 3 月21日)	9,449	0	△5.5	97.4	—	—	1,447

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(設定日)	円	%	%	%	%
2024年10月21日	10,000	—	—	—	—
10月末	10,182	1.8	91.2	—	—
11月末	10,379	3.8	92.9	—	—
12月末	10,848	8.5	95.4	—	—
2025年 1 月末	11,031	10.3	95.9	—	—
2 月末	9,893	△ 1.1	97.3	—	—
(期 末)					
2025年 3 月21日	9,449	△ 5.5	97.4	—	—

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。
(注) 騰落率は設定日比です。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

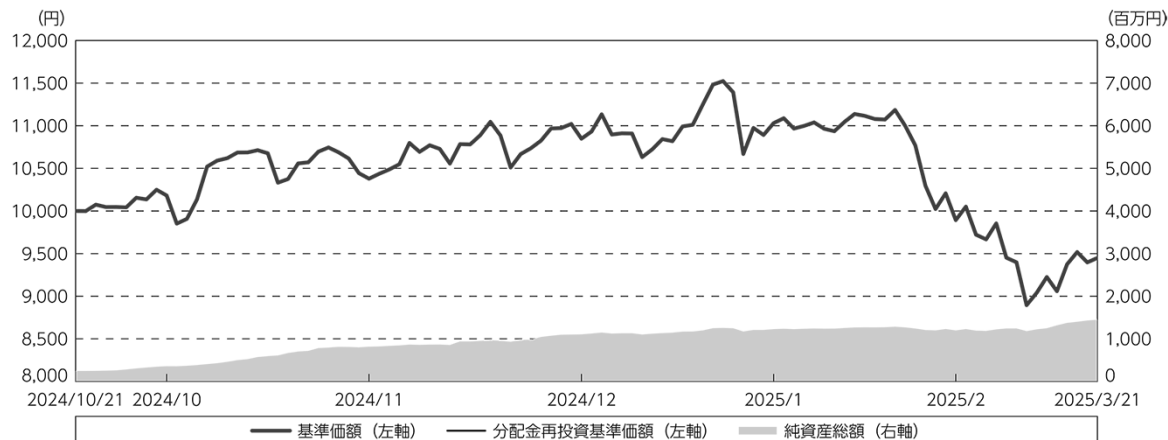
※ベンチマークおよび参考指数について
当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していないため、掲載しておりません。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信（年2回決算型）（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2024年10月21日～2025年3月21日）



設定日：10,000円

期 末：9,449円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 5.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、設定日（2024年10月21日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、設定日比で下落しました。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・公益事業関連などの保有銘柄の価格上昇

下落要因

- ・情報技術関連やヘルスケア関連などの保有銘柄の価格下落

投資環境

（2024年10月21日～2025年3月21日）

【株式市場】

当期末の世界の株式市場は、設定日比で下落しました（米ドルベース）。

2024年12月上旬にかけては、欧米の利下げ観測などを背景に上昇基調で推移しました。主要中央銀行による利下げ実施や良好な企業決算、米国大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策による経済成長加速への期待などが、株価を押し上げました。しかし2025年1月半ばにかけては、欧米の長期金利の上昇が嫌気されたほか、米トランプ政権の政策への警戒感などからやや軟調な展開となりました。2月中旬にかけては、ハイテク企業の好決算などを背景に上昇しましたが、その後は米トランプ政権の関税政策をめぐる不透明感から景気減速が懸念され、下落しました。

【為替市場】

当期末の米ドル円レートは、設定日比で円高米ドル安となりました。

2025年1月半ばにかけては、米トランプ政権の景気刺激策によるインフレ再燃への警戒感や財政悪化懸念から米国金利が上昇したことから、円安米ドル高基調で推移しました。その後は、景気の先行き不透明感による米国金利の低下を受けて、円高米ドル安で推移しました。

運用概況

（2024年10月21日～2025年3月21日）

【当ファンド】

当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として世界各国（日本および新興国を含みます。）の株式に投資することにより信託財産の成長を目指します。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

当ファンドは、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

【マザーファンド】

トップダウンによるテーマ分析とボトムアップによるファンダメンタル分析の融合により、イノベーションが創出する成長機会を発掘し、加速度的な利益成長が期待される世界各国（日本および新興国を含みます。）の高成長企業に投資します。

運用にあたっては、イノベーションの成長サイクル「S字カーブ」において、最も成長が加速する時期（急成長期）に着目して投資テーマを選定し、投資テーマから、緻密なファンダメンタル分析に基づき、加速度的な利益成長が期待される高成長企業の選別を継続して行いました。

その結果、セクター配分においては、情報技術セクターや資本財・サービス・セクターが上位となりました。国別配分においては、アメリカが上位となりました。

＜マザーファンドのセクター別組入比率＞

当期末（2025年3月21日現在）

セクター	比率
情報技術	43.8%
資本財・サービス	21.5%
ヘルスケア	10.9%
コミュニケーション・サービス	9.7%
一般消費財・サービス	8.3%
その他	3.4%
現金等	2.5%

＜マザーファンドの国別組入比率＞

当期末（2025年3月21日現在）

国	比率
アメリカ	68.6%
日本	7.2%
中国	3.7%
ドイツ	3.0%
カナダ	3.0%
その他	12.0%
現金等	2.5%

（注）組入比率はアライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。

（注）国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

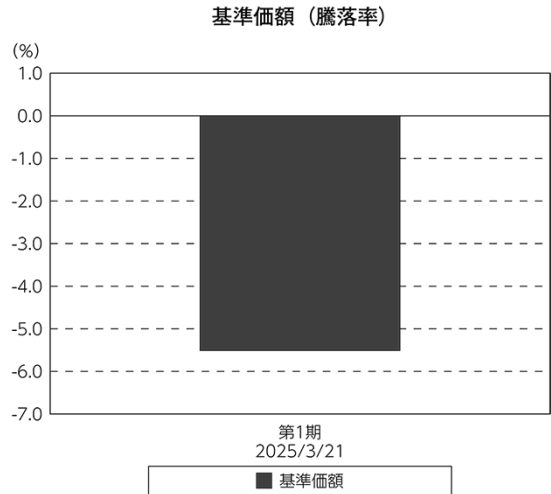
マザーファンドの設定に伴いポートフォリオを構築しました。期中においては、資金流入に伴い、エヌビディア（情報技術）、ブロードコム（情報技術）、アマゾン・ドット・コム（一般消費財・サービス）などの組入上位銘柄を中心に買い増しました。

株式の組入比率は、期を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年10月21日～2025年3月21日)

当ファンドは、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2024年10月21日～2025年3月21日)

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、見送ることとしました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 1 期
	2024年10月21日～ 2025年 3 月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	— — %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

【当ファンド】

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

【マザーファンド】

足もと、米国景気の減速や人工知能(AI)の成長持続に対する懸念が市場の重しとなったものの、運用チームではAI関連企業の見通しは引き続き明るいとしています。中国のディープシークが発表した低コスト生成AIモデルは、今後のAI普及拡大を促すものであり、広範なAI関連企業が恩恵を受ける可能性があるとしています。

クラウドなどデータストレージや、データ分析サービスを提供する企業は、AIの採用に成功しており堅調に推移するとみています。次に、AIに必要なデータセンターと電力インフラの不足に焦点を当てており、この分野では不足を補うためあらゆる代替案が検討されています。テクノロジー業界では、次世代のネットワーキングおよび通信機器プロバイダーや、カスタムコンピューティングのプロバイダーなどが恩恵を受けるとみています。その他の業界では、公益事業の設備投資が活発になるとみており、電力網の強化に関連する企業などは恩恵を受けるとみています。そして、自動化とモノのインターネット(IoT)は注目すべき分野であると考えています。製造業における生産拠点の国内回帰によるインフレ圧力への懸念は、自動化のためAIの採用を加速させる可能性があります。また、PCやスマートフォンなど個人用デバイスでのAIの性能が2025年にどのように進化するかにも注目しています。iPhone 17は、魅力度の高いパーソナルアシスタント機能を搭載できるかが注目されるとみています。さらにM&Aは、企業の時価総額に偏りがあること、規制緩和の見通しを背景に、活発化する可能性があるとしています。M&Aによって、企業は研究開発リソースと専門知識を組み合わせることで最先端で革新的なソリューション開発を加速することができるため、イノベーションを促進する傾向があります。

当ファンドでは、急速に変化する世界において、社会に劇的な変化をもたらすイノベーションのリーダー企業に投資することにより、優れた投資リターンの実現を目指します。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年10月21日～2025年 3 月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	73	0.699	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(36)	(0.344)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(36)	(0.344)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.041	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(4)	(0.041)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	5	0.048	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(5)	(0.048)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	19	0.182	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(13)	(0.120)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(6)	(0.062)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、計理業務関係費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合 計	101	0.970	
期中の平均基準価額は、10,466円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

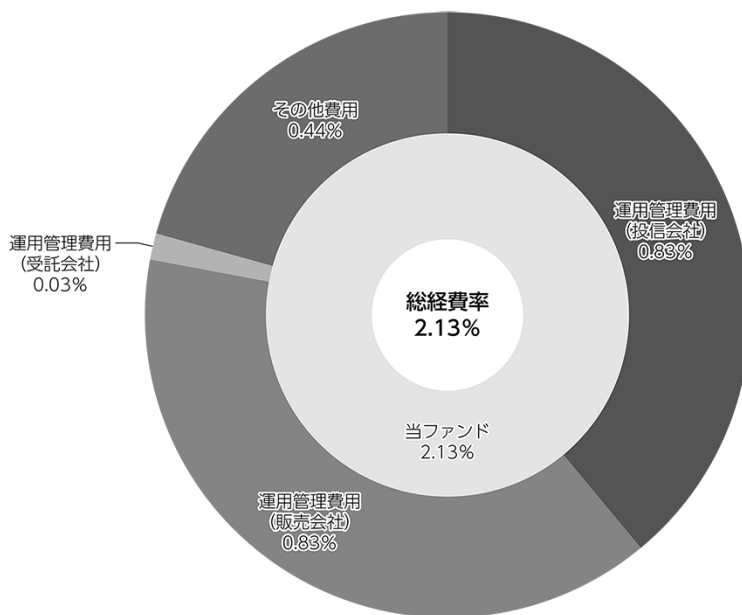
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年10月21日～2025年 3月21日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設		解	
		口	金	口	金
		数	額	数	額
		千口	千円	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド		1,526,760	1,569,550	7,507	7,200

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2024年10月21日～2025年 3月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,082,010千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,114,939千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.34

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年10月21日～2025年 3月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年 3月21日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当	
		期	末
		口	評 価 額
		数	額
		千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド		1,519,253	1,446,025

(注) 単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年3月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド	1,446,025	99.4
コール・ローン等、その他	8,401	0.6
投資信託財産総額	1,454,426	100.0

- (注) 評価額の単位未満は切り捨て。
- (注) アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,075,010千円）の投資信託財産総額（3,441,215千円）に対する比率は89.4%です。
- (注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル＝149.06円、1ユーロ＝161.75円、1英ポンド＝193.21円、1スイスフラン＝168.93円、1スウェーデンクローナ＝14.72円、1デンマーククローネ＝21.68円、1香港ドル＝19.18円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年3月21日現在）

○損益の状況（2024年10月21日～2025年3月21日）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,454,426,626
コール・ローン等	1,201,508
アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド(評価額)	1,446,025,107
未収入金	7,200,000
未収利息	11
(B) 負債	7,132,749
未払信託報酬	6,741,712
その他未払費用	391,037
(C) 純資産総額(A－B)	1,447,293,877
元本	1,531,642,835
次期繰越損益金	△ 84,348,958
(D) 受益権総口数	1,531,642,835口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,449円

- (注) 当初設定元本額245,735,327円、期中追加設定元本額1,305,514,961円、期中一部解約元本額19,607,453円。当期末現在における1口当たり純資産額0.9449円。
- (注) 当期末現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△84,348,958円です。

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,184
受取利息	1,184
(B) 有価証券売買損益	△117,513,678
売買益	213,053
売買損	△117,726,731
(C) 信託報酬等	△ 7,132,749
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△124,645,243
(E) 追加信託差損益金	40,296,285
(売買損益相当額)	(40,296,285)
(F) 計(D＋E)	△ 84,348,958
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	△ 84,348,958
追加信託差損益金	40,296,285
(売買損益相当額)	(40,296,285)
繰越損益金	△124,645,243

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。
- (注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 第1期計算期間末における費用控除後の配当等収益額（0円）、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額（0円）より分配対象収益額は0円（10,000口当たり0円）ですが、当期に分配した金額はありません。

アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信
（隔月決算・予想分配金提示型）

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率			
(設定日)	円		円	%	%	%	百万円
2024年10月21日	10,000		—	—	—	—	290
1 期(2025年 1 月20日)	10,920		100	10.2	97.2	—	1,442
2 期(2025年 3 月21日)	9,351		0	△14.4	97.5	—	1,875

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
			騰 落	率		
第 1 期	(設定日)	円		%	%	%
	2024年10月21日	10,000		—	—	—
	10月末	10,179		1.8	91.2	—
	11月末	10,393		3.9	92.9	—
	12月末	10,881		8.8	95.4	—
第 2 期	(期 末)					
	2025年 1 月20日	11,020		10.2	97.2	—
	(期 首)					
	2025年 1 月20日	10,920		—	97.2	—
	1 月末	10,954		0.3	95.7	—
第 2 期	2 月末	9,826		△10.0	97.1	—
	(期 末)					
	2025年 3 月21日	9,351		△14.4	97.5	—

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。

(注) 各期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

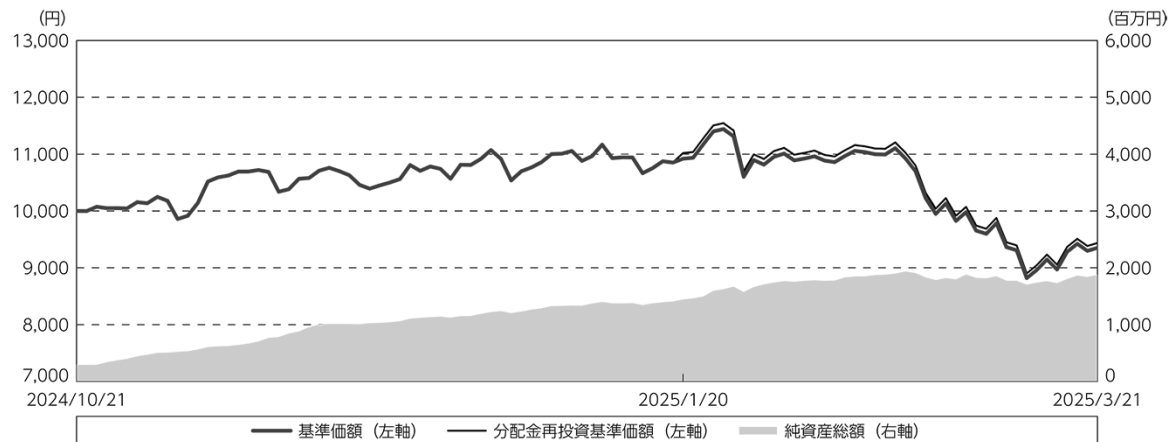
※ベンチマークおよび参考指数について
当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していないため、掲載しておりません。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信（隔月決算・予想分配金提示型）（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

作成期間中の基準価額等の推移

（2024年10月21日～2025年3月21日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2024年10月21日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額等の推移

基準価額(分配金(税込み)再投資)は、設定日比で下落しました。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・公益事業関連などの保有銘柄の価格上昇

下落要因

- ・情報技術関連やヘルスケア関連などの保有銘柄の価格下落

投資環境

（2024年10月21日～2025年3月21日）

【株式市場】

当作成期末の世界の株式市場は、設定日比で下落しました（米ドルベース）。

2024年12月上旬にかけては、欧米の利下げ観測などを背景に上昇基調で推移しました。主要中央銀行による利下げ実施や良好な企業決算、米国大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策による経済成長加速への期待などが、株価を押し上げました。しかし2025年1月半ばにかけては、欧米の長期金利の上昇が嫌気されたほか、米トランプ政権の政策への警戒感などからやや軟調な展開となりました。2月中旬にかけては、ハイテク企業の好決算などを背景に上昇しましたが、その後は米トランプ政権の関税政策をめぐる不透明感から景気減速が懸念され、下落しました。

【為替市場】

当作成期末の米ドル円レートは、設定日比で円高米ドル安となりました。

2025年1月半ばにかけては、米トランプ政権の景気刺激策によるインフレ再燃への警戒感や財政悪化懸念から米国金利が上昇したことから、円安米ドル高基調で推移しました。その後は、景気の先行き不透明感による米国金利の低下を受けて、円高米ドル安で推移しました。

運用概況

（2024年10月21日～2025年3月21日）

【当ファンド】

当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として世界各国（日本および新興国を含みます。）の株式に投資することにより信託財産の成長を目指します。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

当ファンドは、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

【マザーファンド】

トップダウンによるテーマ分析とボトムアップによるファンダメンタル分析の融合により、イノベーションが創出する成長機会を発掘し、加速度的な利益成長が期待される世界各国（日本および新興国を含みます。）の高成長企業に投資します。

運用にあたっては、イノベーションの成長サイクル「S字カーブ」において、最も成長が加速する時期（急成長期）に着目して投資テーマを選定し、投資テーマから、緻密なファンダメンタル分析に基づき、加速度的な利益成長が期待される高成長企業の選別を継続して行いました。

その結果、セクター配分においては、情報技術セクターや資本財・サービス・セクターが上位となりました。国別配分においては、アメリカが上位となりました。

＜マザーファンドのセクター別組入比率＞

当作成期末（2025年3月21日現在）

セクター	比率
情報技術	43.8%
資本財・サービス	21.5%
ヘルスケア	10.9%
コミュニケーション・サービス	9.7%
一般消費財・サービス	8.3%
その他	3.4%
現金等	2.5%

＜マザーファンドの国別組入比率＞

当作成期末（2025年3月21日現在）

国	比率
アメリカ	68.6%
日本	7.2%
中国	3.7%
ドイツ	3.0%
カナダ	3.0%
その他	12.0%
現金等	2.5%

（注）組入比率はアライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

（注）国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

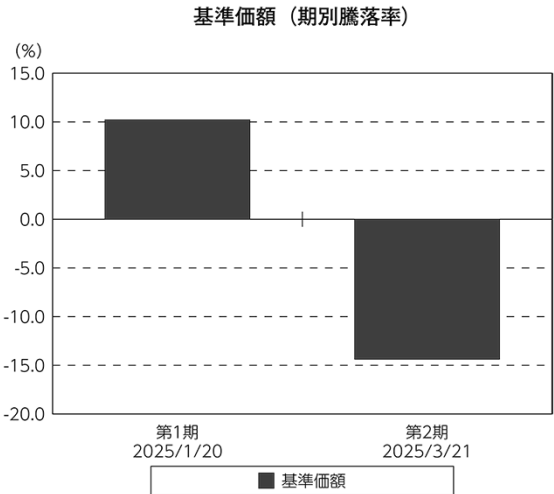
マザーファンドの設定に伴いポートフォリオを構築しました。期中においては、資金流入に伴い、エヌビディア(情報技術)、ブロードコム(情報技術)、アマゾン・ドット・コム(一般消費財・サービス)などの組入上位銘柄を中心に買い増しました。

株式の組入比率は、当作成期を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年10月21日～2025年3月21日)

当ファンドは、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2024年10月21日～2025年3月21日)

当作成期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、決定しました。各決算期の分配金については、以下をご覧ください(当作成期間合計：100円)。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 1 期	第 2 期
	2024年10月21日～ 2025年1月20日	2025年1月21日～ 2025年3月21日
当期分配金	100	—
(対基準価額比率)	0.907%	—%
当期の収益	100	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	919	512

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

【当ファンド】

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

【マザーファンド】

足もと、米国景気の減速や人工知能(AI)の成長持続に対する懸念が市場の重しとなったものの、運用チームではAI関連企業の見通しは引き続き明るいとしています。中国のディープシークが発表した低コスト生成AIモデルは、今後のAI普及拡大を促すものであり、広範なAI関連企業が恩恵を受ける可能性があるとしています。

クラウドなどデータストレージや、データ分析サービスを提供する企業は、AIの採用に成功しており堅調に推移するとみています。次に、AIに必要なデータセンターと電力インフラの不足に焦点を当てており、この分野では不足を補うためあらゆる代替案が検討されています。テクノロジー業界では、次世代のネットワーキングおよび通信機器プロバイダーや、カスタムコンピューティングのプロバイダーなどが恩恵を受けるとみています。その他の業界では、公益事業の設備投資が活発になるとみており、電力網の強化に関連する企業などは恩恵を受けるとみています。そして、自動化とモノのインターネット(IoT)は注目すべき分野であると考えています。製造業における生産拠点の国内回帰によるインフレ圧力への懸念は、自動化のためAIの採用を加速させる可能性があります。また、PCやスマートフォンなど個人用デバイスでのAIの性能が2025年にどのように進化するかにも注目しています。iPhone 17は、魅力度の高いパーソナルアシスタント機能を搭載できるかが注目されるとみています。さらにM&Aは、企業の時価総額に偏りがあること、規制緩和の見通しを背景に、活発化する可能性があるとしています。M&Aによって、企業は研究開発リソースと専門知識を組み合わせることで最先端で革新的なソリューション開発を加速することができるため、イノベーションを促進する傾向があります。

当ファンドでは、急速に変化する世界において、社会に劇的な変化をもたらすイノベーションのリーダー企業に投資することにより、優れた投資リターンの実現を目指します。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年10月21日～2025年 3 月21日)

項 目	第 1 期～第 2 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	73	0.699	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(36)	(0.344)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.344)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.041	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数
(株 式)	(4)	(0.041)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	5	0.046	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数
(株 式)	(5)	(0.046)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	19	0.183	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(13)	(0.120)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(6)	(0.063)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、計理業務関係費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合 計	101	0.969	
作成期間中の平均基準価額は、10,446円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

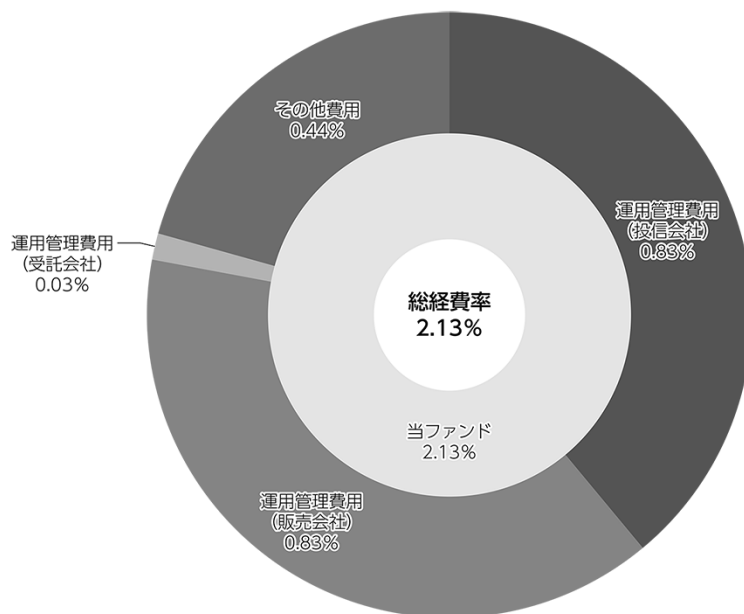
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成対象期間の平均受益権口数に作成対象期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況 (2024年10月21日～2025年3月21日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第1期～第2期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド	2,019,871	2,127,239	49,938	51,360

(注) 単位未満は切り捨て。

○株式売買比率 (2024年10月21日～2025年3月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第1期～第2期
	アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	7,086,247千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	2,114,939千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.35

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等 (2024年10月21日～2025年3月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細 (2025年3月21日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第2期末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド	1,969,932	1,874,981

(注) 単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年3月21日現在)

項 目	第2期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド	1,874,981	99.6
コール・ローン等、その他	7,566	0.4
投資信託財産総額	1,882,547	100.0

- (注) 評価額の単位未満は切り捨て。
- (注) アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（3,075,010千円）の投資信託財産総額（3,441,215千円）に対する比率は89.4%です。
- (注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル＝149.06円、1ユーロ＝161.75円、1英ポンド＝193.21円、1スイスフラン＝168.93円、1スウェーデンクローナ＝14.72円、1デンマーククローネ＝21.68円、1香港ドル＝19.18円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第1期末	第2期末
	2025年1月20日現在	2025年3月21日現在
	円	円
(A) 資産	1,459,836,240	1,882,547,370
コール・ローン等	1,147,060	1,135,409
アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド(評価額)	1,427,789,175	1,874,981,951
未収入金	30,900,000	6,430,000
未収利息	5	10
(B) 負債	17,619,073	6,872,130
未払収益分配金	13,207,659	—
未払解約金	—	1,706,158
未払信託報酬	4,169,818	4,881,954
その他未払費用	241,596	284,018
(C) 純資産総額(A－B)	1,442,217,167	1,875,675,240
元本	1,320,765,945	2,005,960,811
次期繰越損益金	121,451,222	△ 130,285,571
(D) 受益権総口数	1,320,765,945口	2,005,960,811口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,920円	9,351円

- (注) 第1期首元本額290,850,252円、第1～2期中追加設定元本額1,744,926,761円、第1～2期中一部解約元本額29,816,202円。
- (注) 当期末現在における1口当たり純資産額、第1期1.0920円、第2期0.9351円。
- (注) 第2期末現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△130,285,571円です。

○損益の状況

項 目	第 1 期	第 2 期
	2024年10月21日～ 2025年 1 月20 日	2025年 1 月21日～ 2025年 3 月21 日
	円	円
(A) 配当等収益	543	192
受取利息	543	192
(B) 有価証券売買損益	84, 944, 959	△283, 711, 853
売買益	85, 469, 175	2, 826, 493
売買損	△ 524, 216	△286, 538, 346
(C) 信託報酬等	△ 4, 411, 414	△ 5, 165, 972
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	80, 534, 088	△288, 877, 633
(E) 前期繰越損益金	—	66, 575, 120
(F) 追加信託差損益金	54, 124, 793	92, 016, 942
(配当等相当額)	(—)	(35, 980, 641)
(売買損益相当額)	(54, 124, 793)	(56, 036, 301)
(G) 計 (D + E + F)	134, 658, 881	△130, 285, 571
(H) 収益分配金	△ 13, 207, 659	0
次期繰越損益金 (G + H)	121, 451, 222	△130, 285, 571
追加信託差損益金	54, 124, 793	92, 016, 942
(配当等相当額)	(198, 164)	(36, 141, 030)
(売買損益相当額)	(53, 926, 629)	(55, 875, 912)
分配準備積立金	67, 326, 429	66, 575, 120
繰越損益金	—	△288, 877, 633

- (注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。
- (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 第 1 期計算期間末における費用控除後の配当等収益額（693, 839円）、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額（79, 840, 249円）、および収益調整金額（54, 124, 793円）より分配対象収益額は134, 658, 881円（10, 000口当たり1, 019円）であり、うち13, 207, 659円（10, 000口当たり100円）を分配金額としております。
- (注) 第 2 期計算期間末における費用控除後の配当等収益額（0円）、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金額（36, 141, 030円）および分配準備積立金額（66, 575, 120円）より分配対象収益額は102, 716, 150円（10, 000口当たり512円）ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

	第 1 期	第 2 期
1 万口当たり分配金（税込み）	100円	0円

★分配金の内訳、税金の取扱いは以下のとおりです。（各決算期ごとに計算されます。）

◇課税上の取扱い

①分配金の課税について

- ・分配金は「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に区分され、普通分配金に課税されます。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本と同額または受益者の個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。ただし分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回り、かつ分配金と分配落ち後の基準価額を加えたものが受益者の個別元本と同額か下回る場合には、分配金の全額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

②個人の課税上の取扱い

- ・元本払戻金（特別分配金）：元本払戻金（特別分配金）は、お客様の取得元本の一部の払い戻しに当たるため、課税されません。
- ・普通分配金：個人の受益者の源泉徴収時には、配当所得として以下のように課税されます。
20.315%（所得税15.315%、地方税5%）
※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。詳しくは販売会社へお問い合わせください。

※外国税額控除の適用となった場合には、普通分配金から源泉徴収される税額が上記と異なる場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご相談されることをお勧めします。



アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド

第1期(決算日2025年3月21日)

(計算期間：2024年10月21日～2025年3月21日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。
主要運用対象	世界の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 式 率	株 先 物 比 式 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
(設定日) 2024年10月21日	円 10,000		% —	% —	% —	百万円 535
1 期(2025年 3 月21日)	9,518		△4.8	97.5	—	3,321

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 式 率	株 先 物 比 式 率
		騰 落	率		
(設定日) 2024年10月21日	円 10,000		% —	% —	% —
10月末	10,196		2.0	91.4	—
11月末	10,418		4.2	92.9	—
12月末	10,928		9.3	95.3	—
2025年 1 月末	11,134		11.3	95.6	—
2 月末	9,989		△ 0.1	96.9	—
(期 末) 2025年 3 月21日	9,518		△ 4.8	97.5	—

(注) 各騰落率は設定日比です。
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークおよび参考指数について
当マザーファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していないため、掲載しておりません。

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信・マザーファンド(以下「当マザーファンド」ということがあります。)の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2024年10月21日～2025年3月21日)

○基準価額等の推移

基準価額は、設定日比で下落しました。

○基準価額の主な変動要因

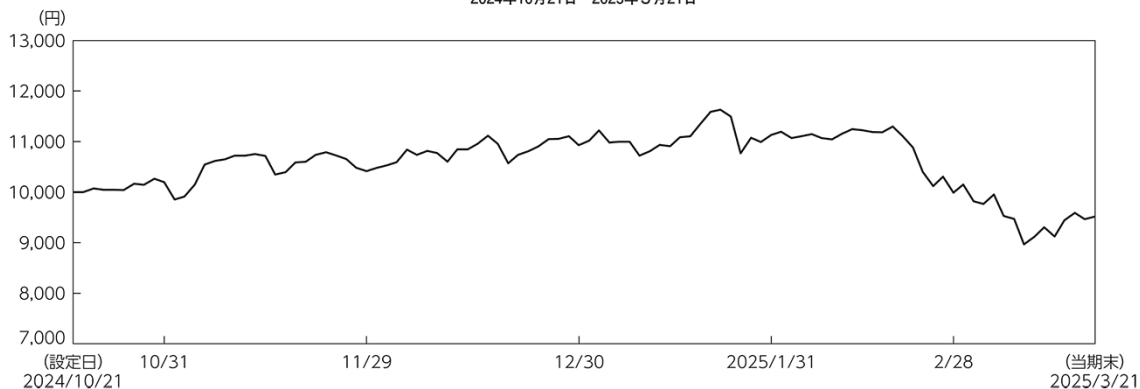
上昇要因

- ・公益事業関連などの保有銘柄の価格上昇

下落要因

- ・情報技術関連やヘルスケア関連などの保有銘柄の価格下落

当期中の基準価額の推移
2024年10月21日～2025年3月21日



投資環境

(2024年10月21日～2025年3月21日)

【株式市場】

当期末の世界の株式市場は、設定日比で下落しました(米ドルベース)。

2024年12月上旬にかけては、欧米の利下げ観測などを背景に上昇基調で推移しました。主要中央銀行による利下げ実施や良好な企業決算、米国大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策による経済成長加速への期待などが、株価を押し上げました。しかし2025年1月半ばにかけては、欧米の長期金利の上昇が嫌気されたほか、米トランプ政権の政策への警戒感などからやや軟調な展開となりました。2月中旬にかけては、ハイテク企業の好決算などを背景に上昇しましたが、その後は米トランプ政権の関税政策をめぐる不透明感から景気減速が懸念され、下落しました。

【為替市場】

当期末の米ドル円レートは、設定日比で円高米ドル安となりました。

2025年1月半ばにかけては、米トランプ政権の景気刺激策によるインフレ再燃への警戒感や財政悪化懸念から米国金利が上昇したことから、円安米ドル高基調で推移しました。その後は、景気の先行き不透明感による米国金利の低下を受けて、円高米ドル安で推移しました。

運用概況

(2024年10月21日～2025年3月21日)

当マザーファンドは、トップダウンによるテーマ分析とボトムアップによるファンダメンタル分析の融合により、イノベーションが創出する成長機会を発掘し、加速度的な利益成長が期待される世界各国(日本および新興国を含みます。)の高成長企業に投資します。

運用にあたっては、イノベーションの成長サイクル「S字カーブ」において、最も成長が加速する時期(急成長期)に着目して投資テーマを選定し、投資テーマから、緻密なファンダメンタル分析に基づき、加速度的な利益成長が期待される高成長企業の選別を継続して行いました。

その結果、セクター配分においては、情報技術セクターや資本財・サービス・セクターが上位となりました。国別配分においては、アメリカが上位となりました。

<マザーファンドのセクター別組入比率>

当期末 (2025年3月21日現在)

セクター	比率
情報技術	43.8%
資本財・サービス	21.5%
ヘルスケア	10.9%
コミュニケーション・サービス	9.7%
一般消費財・サービス	8.3%
その他	3.4%
現金等	2.5%

<マザーファンドの国別組入比率>

当期末 (2025年3月21日現在)

国	比率
アメリカ	68.6%
日本	7.2%
中国	3.7%
ドイツ	3.0%
カナダ	3.0%
その他	12.0%
現金等	2.5%

(注) 組入比率はアライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。
(注) 国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

当マザーファンドの設定に伴いポートフォリオを構築しました。 期中においては、資金流入に伴い、エヌビディア(情報技術)、ブロードコム(情報技術)、アマゾン・ドット・コム(一般消費財・サービス)などの組入上位銘柄を中心に買い増しました。

株式の組入比率は、期を通じて高い水準を維持しました。

今後の運用方針

足もと、米国景気の減速や人工知能(AI)の成長持続に対する懸念が市場の重しとなったものの、運用チームではAI関連企業の見通しは引き続き明るいとしています。中国のディープシークが発表した低コスト生成AIモデルは、今後のAI普及拡大を促すものであり、広範なAI関連企業が恩恵を受ける可能性があるとしています。

クラウドなどデータストレージや、データ分析サービスを提供する企業は、AIの採用に成功しており堅調に推移するとみています。次に、AIに必要なデータセンターと電力インフラの不足に焦点を当てており、この分野では不足を補うためあらゆる代替案が検討されています。テクノロジー業界では、次世代のネットワーキングおよび通信機器プロバイダーや、カスタムコンピューティングのプロバイダーなどが恩恵を受けるとみています。その他の業界では、公益事業の設備投資が活発になるとみており、電力網の強化に関連する企業などは恩恵を受けるとみています。そして、自動化とモノのインターネット(IoT)は注目すべき分野であると考えています。製造業における生産拠点の国内回帰によるインフレ圧力への懸念は、自動化のためAIの採用を加速させる可能性があります。また、PCやスマートフォンなど個人用デバイスでのAIの性能が2025年にどのように進化するかにも注目しています。iPhone 17は、魅力度の高いパーソナルアシスタント機能を搭載できるかが注目されるとみています。さらにM&Aは、企業の時価総額に偏りがあること、規制緩和の見通しを背景に、活発化する可能性があるとしています。M&Aによって、企業は研究開発リソースと専門知識を組み合わせ、最先端で革新的なソリューション開発を加速することができるため、イノベーションを促進する傾向があります。

当マザーファンドでは、急速に変化する世界において、社会に劇的な変化をもたらすイノベーションのリーダー企業に投資することにより、優れた投資リターンの実現を目指します。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年10月21日～2025年3月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.041	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(4)	(0.041)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(b) 有 価 証 券 取 引 税	5	0.047	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(5)	(0.047)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	15	0.141	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(13)	(0.120)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(2)	(0.021)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	24	0.229	
期中の平均基準価額は、10,533円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年10月21日～2025年3月21日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 69	千円 302,209	千株 9	千円 76,181
外国	アメリカ	百株 2,629 (16)	千米ドル 28,949 (ー)	百株 1,140	千米ドル 10,391
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	136	605	13	70
	イタリア	45	293	6	37
	フランス	30	532	15	146
	オランダ	4	273	1	77
	アイルランド	19	164	ー	ー
	イギリス	326	千英ポンド 249	151	千英ポンド 134
	スイス	14	千スイスフラン 380	0.28	千スイスフラン 16
	スウェーデン	29	千スウェーデンクローナ 1,810	ー	千スウェーデンクローナ ー
	デンマーク	16	千デンマーククローネ 1,170	ー	千デンマーククローネ ー
	香港	386	千香港ドル 7,205	126	千香港ドル 1,631

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) () 内は株式分割、予約権行使（株式転換）、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ー印は該当なし。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	SBA COMMUNICATIONS CORP	104	25	104	25

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2024年10月21日～2025年 3 月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	7,082,010千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,114,939千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.34

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年10月21日～2025年 3 月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年 3 月21日現在)

国内株式

銘 柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
機械 (32.9%)		
ハーモニック・ドライブ・システムズ	9.151	33,263
三菱重工業	13.012	37,402
電気機器 (67.1%)		
日立製作所	9.201	34,660
安川電機	4.311	18,067
ルネサスエレクトロニクス	11.568	26,594
ソニーグループ	9	34,038
アドバンテスト	3.8	30,772
合 計	株 数 ・ 金 額	60 214,799
	銘 柄 数 < 比 率 >	7 <6.5%>

(注) 銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千米ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	10	129	19,370	ヘルスケア機器・サービ
AMPHENOL CORP-CL A	32	217	32,434	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ARISTA NETWORKS INC	20	174	25,947	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BWX TECHNOLOGIES INC	9	93	14,006	資本財
BLOOM ENERGY CORP- A	46	118	17,726	資本財
BOSTON SCIENTIFIC CORP	33	337	50,356	ヘルスケア機器・サービ
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	20	123	18,372	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CATERPILLAR INC	4	146	21,802	資本財
CELESTICA INC	31	300	44,754	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CIENA CORP	19	125	18,685	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CLOUDFLARE INC - CLASS A	8	104	15,523	ソフトウェア・サービ
COHERENT CORP	32	220	32,825	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
EPAM SYSTEMS INC	11	194	29,044	ソフトウェア・サービ
GE VERNOVA INC	6	232	34,593	資本財
HOWMET AEROSPACE INC	20	271	40,470	資本財
HUBSPOT INC	2	159	23,808	ソフトウェア・サービ
ELI LILLY AND COMPANY	1	150	22,481	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ORACLE CORPORATION	14	224	33,532	ソフトウェア・サービ
QUANTA SERVICES INC	6	187	27,963	資本財
REDDIT INC-CL A	18	197	29,373	メディア・娯楽
ROCKWELL AUTOMATION INC	8	213	31,776	資本財
RUBRIK INC-A	11	83	12,439	ソフトウェア・サービ
SALESFORCE INC	7	214	32,026	ソフトウェア・サービ
SAMSARA INC-CL A	55	220	32,828	ソフトウェア・サービ
SEA LTD-ADR	21	269	40,199	メディア・娯楽
SERVICENOW INC	2	208	31,079	ソフトウェア・サービ
SHOPIFY INC - CLASS A	36	366	54,699	ソフトウェア・サービ
SNOWFLAKE INC-CLASS A	17	274	40,886	ソフトウェア・サービ
STRYKER CORP	6	233	34,863	ヘルスケア機器・サービ
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	14	261	38,966	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	4	214	32,005	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNITY SOFTWARE INC	49	104	15,598	ソフトウェア・サービ
VALMONT INDUSTRIES	3	115	17,232	資本財
VERTIV HOLDINGS CO-A	18	167	24,910	資本財
VISTRA CORP	18	237	35,448	公益事業
WABTEC CORP	10	187	27,885	資本財
WATERS CORP	6	230	34,325	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EATON CORP PLC	13	385	57,531	資本財
JOHNSON CONTROLS INTERNATIONAL	13	112	16,819	資本財
SPOTIFY TECHNOLOGY SA	4	295	44,045	メディア・娯楽
ADOBE INC	4	169	25,320	ソフトウェア・サービ
AFFIRM HOLDINGS INC	16	77	11,507	金融サービ
ALLEGRO MICROSYSTEMS INC	61	165	24,716	半導体・半導体製造装置
ALPHABET INC-CL A	19	315	47,005	メディア・娯楽
AMAZON. COM INC	17	334	49,865	一般消費財・サービ流通・小売
ANALOG DEVICES INC	5	109	16,327	半導体・半導体製造装置
APPLIED MATERIALS INC	6	92	13,807	半導体・半導体製造装置

アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド

銘	柄	当 期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	千米ドル	千円	
ARM HOLDINGS PLC-ADR		14	172	25,753	半導体・半導体製造装置
ATLASSIAN CORP-CL A		9	215	32,093	ソフトウェア・サービス
BAKER HUGHES CO		45	203	30,363	エネルギー
BOOKING HOLDINGS INC		0.48	220	32,833	消費者サービス
BROADCOM INC		38	727	108,410	半導体・半導体製造装置
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A		1	21	3,206	金融サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A		1	57	8,581	ソフトウェア・サービス
DOORDASH INC - A		12	245	36,609	消費者サービス
META PLATFORMS INC-A		8	505	75,382	メディア・娯楽
FORTINET INC		22	219	32,739	ソフトウェア・サービス
GITLAB INC-CL A		26	136	20,391	ソフトウェア・サービス
INTEL CORP		49	118	17,678	半導体・半導体製造装置
INTUITIVE SURGICAL INC		7	345	51,463	ヘルスケア機器・サービス
KLA CORPORATION		1	113	16,980	半導体・半導体製造装置
LAM RESEARCH CORP		45	356	53,162	半導体・半導体製造装置
LATTICE SEMICONDUCTOR CORP		34	210	31,358	半導体・半導体製造装置
LUMENTUM HOLDINGS INC		16	112	16,702	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MARVELL TECHNOLOGY INC		31	225	33,560	半導体・半導体製造装置
MICRON TECHNOLOGY INC		10	111	16,642	半導体・半導体製造装置
NETFLIX INC		3	364	54,283	メディア・娯楽
NVIDIA CORP		77	913	136,203	半導体・半導体製造装置
PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A		37	324	48,314	ソフトウェア・サービス
PALO ALTO NETWORKS INC		6	110	16,484	ソフトウェア・サービス
QORVO INC		17	128	19,123	半導体・半導体製造装置
REPLIGEN CORP		7	107	16,055	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ROBINHOOD MARKETS INC - A		50	220	32,819	金融サービス
ROCKET LAB USA INC		52	96	14,456	資本財
SYNOPSYS INC		4	205	30,586	ソフトウェア・サービス
TESLA INC		8	206	30,709	自動車・自動車部品
TEXAS INSTRUMENTS INC		5	103	15,378	半導体・半導体製造装置
JFROG LTD		33	113	16,968	ソフトウェア・サービス
MONDAY.COM LTD		6	171	25,514	ソフトウェア・サービス
NXP SEMICONDUCTORS NV		7	154	23,016	半導体・半導体製造装置
小 計		株 数 ・ 金 額	1,505	16,912	2,521,020
銘 柄 数 < 比 率 >			80	—	<75.9%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
INFINEON TECHNOLOGIES AG		56	191	31,015	半導体・半導体製造装置
SIEMENS ENERGY AG		41	254	41,165	資本財
HENSOLDT AG		25	172	27,926	資本財
小 計		株 数 ・ 金 額	122	618	100,106
銘 柄 数 < 比 率 >			3	—	<3.0%>
(ユーロ…イタリア)					
PRYSMIAN SPA		39	227	36,719	資本財
小 計		株 数 ・ 金 額	39	227	36,719
銘 柄 数 < 比 率 >			1	—	<1.1%>
(ユーロ…フランス)					
THALES SA		6	157	25,440	資本財
SCHNEIDER ELECTRIC SE		8	205	33,312	資本財
小 計		株 数 ・ 金 額	15	363	58,753
銘 柄 数 < 比 率 >			2	—	<1.8%>

アライアンス・バーンスタイン・世界高成長株マザーファンド

銘柄	株数	期末評価額		業種等
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…オランダ) ASM INTERNATIONAL NV	百株 3	千ユーロ 149	千円 24,181	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3 1	149 — <0.7%>	
(ユーロ…アイルランド) KINGSPAN GROUP PLC	19	157	25,504	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	19 1	157 — <0.8%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	199 8	1,516 — <7.4%>	
(イギリス) ROLLS-ROYCE HOLDINGS PLC	175	千英ポンド 139	27,036	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	175 1	139 — <0.8%>	
(スイス) LONZA GROUP AG-REG STRAUMANN HOLDING AG-REG	4 9	千スイスフラン 264 104	44,730 17,574	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	13 2	368 — <1.9%>	
(スウェーデン) ABB LTD-REG	29	千スウェーデンクローナ 1,749	25,756	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	29 1	1,749 — <0.8%>	
(デンマーク) NOVO NORDISK A/S-B	16	千デンマーククローネ 913	19,812	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	16 1	913 — <0.6%>	
(香港) BYD CO LTD-H ALIBABA GROUP HOLDING LTD TENCENT HOLDINGS LTD	55 172 32	千香港ドル 2,369 2,340 1,662	45,448 44,893 31,884	自動車・自動車部品 一般消費財・サービス流通・小売り メディア・娯楽
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	260 3	6,372 — <3.7%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,201 96	— — <91.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年3月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 3,238,223	% 94.1
コール・ローン等、その他	202,992	5.9
投資信託財産総額	3,441,215	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。
(注) 当期末における外貨建純資産 (3,075,010千円) の投資信託財産総額 (3,441,215千円) に対する比率は89.4%です。
(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=149.06円、1ユーロ=161.75円、1英ポンド=193.21円、1スイスフラン=168.93円、1スウェーデンクローナ=14.72円、1デンマーククローネ=21.68円、1香港ドル=19.18円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年3月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,521,654,018
コール・ローン等	190,227,387
株式(評価額)	3,238,223,024
未収入金	92,029,973
未収配当金	1,173,140
未収利息	494
(B) 負債	200,585,009
未払金	186,955,009
未払解約金	13,630,000
(C) 純資産総額(A－B)	3,321,069,009
元本	3,489,185,815
次期繰越損益金	△ 168,116,806
(D) 受益権総口数	3,489,185,815口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,518円

(注) 当初設定元本額535,000,000円、期中追加設定元本額3,011,632,376円、期中一部解約元本額57,446,561円。当期末現在における1口当たり純資産額0.9518円。
(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記のとおりです。
(注) 当期末現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△168,116,806円です。

<組入元本額の内訳>

アラライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信 (隔月決算・予想分配金提示型)	1,969,932,708円
アラライアンス・バーンスタイン・世界高成長株投信 (年2回決算型)	1,519,253,107円

○損益の状況 (2024年10月21日～2025年3月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,742,980
受取配当金	3,394,864
受取利息	348,101
その他収益金	15
(B) 有価証券売買損益	△317,837,796
売買益	143,669,287
売買損	△461,507,083
(C) 保管費用等	△ 3,065,787
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△317,160,603
(E) 追加信託差損益金	150,157,236
(F) 解約差損益金	△ 1,113,439
(G) 計(D＋E＋F)	△168,116,806
次期繰越損益金(G)	△168,116,806

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。